

特集 平成30年度 決算状況

詳 財政課 画 (32)6212

平成30年度決算の結果は、財政健全化法に基づく4指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）のいずれも早期健全化基準を下回りました。

また、資金不足比率においても、全ての会計で経営健全化基準を下回りました。

引き続き、健全な財政の維持に努めていきます。

各会計の決算概要をお知らせします。

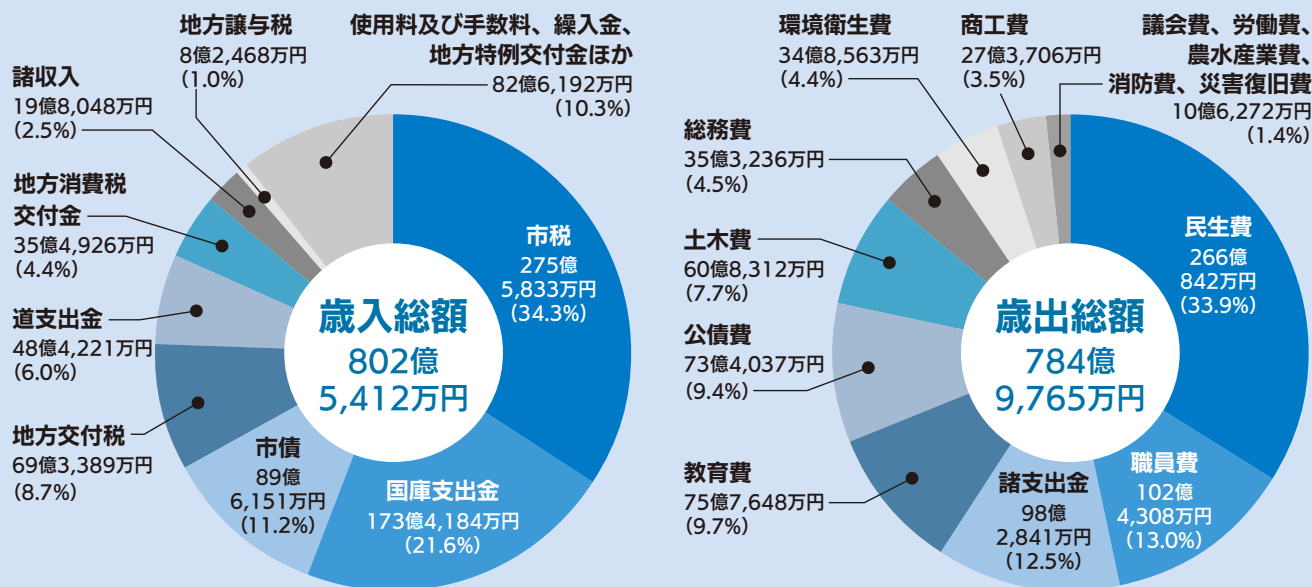
一般会計の決算状況

一般会計は、私たちの生活に密着した福祉の増進や安全の確保、教育・文化の振興、ごみ処理や道路・公園の維持整備など、市政の基本となる会計です。

歳入（年度中の収入）の総額は802億5,412万円で、前年度に比べ13億6,655万円（1.7%）増加しました。歳出（年度中の支出）の総額は784億9,765万円で、前年度に比べ12億8,108万円（1.7%）増加し、差引額17億5,647万円の黒字になりました。

これは、歳入のうち市税や財産収入などが減少したものの、国庫支出金が6億4,175万円（3.8%）増となったことや、市債が14億9,420万円（20.0%）増となったことによります。

歳出のうち、主要事業費は総額191億5,295万円で、今後のまちづくりに必要な事業である道路・公園の建設・改修をはじめ、ウトナイ中学校新築や立地企業サポート事業、採用力・魅力創造支援事業などを行いました。また、毎年度経常的にかかる経費については、扶助費が増加しました。



市民1人当たりの決算額

■市税負担額 **160,901円** (1,850円減少) ■使われた経費 **458,314円** (8,593円増加)

主な内容

- 扶助費 [福祉の充実に] 132,133円 (9,301円増加)
- 人件費 [職員の給与などに] 55,428円 (1,769円増加)
- 公債費 [借入金の返済に] 42,857円 (443円減少)
- 投資的経費 [施設建設などに] 70,906円 (8,349円増加)

※金額は一般会計の決算額を平成31年3月31日現在人口171,275人で割ったもの（ ）は対前年比